

英文契約書は難しくない！ 基本表現をマスターしてビジネスリスクを評価する

ゼロから学べる「英文契約書の基本表現」入門講座

35年の実務経験を持つ講師が動画で教える 短期間、効率的「英文契約書」習得法

英文契約書は決して難しいものではありません。
高い英語力が必要とされているのではなく、
契約の基礎知識と必要最低限の法律英語が分かっているだけで、十分に対応できます。
ただ、自己流でやみくもに学習しても短時間での熟達は望めません。初めに英文契約書の基本的な型を覚えることが肝要です。

本講座ではまず最低限知っておくべき基礎知識を解説し、次に厳選した約200の基本表現を、例文を使いながらマスターしていただきます。
これにより、相手方ドラフトのリスクを適切に評価することができ、契約交渉の際に適切・有効なカウンタープロポーザル（対案）を打て、有利な交渉を行うことが可能となります

本講座は、ビジネスで英文契約書の必要性を痛感している方々、国際法務担当者や法律事務所に勤務の方々のための講座です。

とくに、最終チェックは専門家に任せるとしても、自分でも契約の重要ポイント、ビジネス上のリスクや問題点を把握しておきたいと考える開発、企画・営業・製造など現場のビジネスパーソンの方々（特に製造業、商社、IT企業など海外企業との契約が頻繁な業種に勤める方々）にお勧めで、知っておくと必ず役に立つ事柄、ビジネスで必要とされる表現に的を絞って、動画を見ながら実践的な英文契約書の知識が身につきます。

講師の35年にわたる実務経験に基づいて開発された、短期間で最も効果的に学ぶ習得方法で英文契約書を実務に活かすことが可能になり、性質の異なる相手の理解と対応法などを動画形式で講師がわかりやすく解説します。

講師



牧野 和夫氏

弁護士・弁理士・米
国ミシガン州弁護士
(芝総合法律事務所)

早稲田大学、関西学院大学商学部、琉球大学法科大学院、東京医科歯科大学大学院、明治学院大学法学部の各講師。1981年早稲田大学法学部卒業。91年ジョージタウン大学ロースクール法学修士号。2013年ハーバード大学ロースクール交渉戦略プログラム修了。いすゞ自動車課長・審議役、アップルコンピュータ法務部長、Business Software Alliance(BSA)日本代表事務局長、内閣司法制度改革推進本部法曹養成検討会委員、国土館大学法学部教授、尚美学園大学大学院客員教授、東京理科大学大学院客員教授などを歴任。General Motors Institute(GM 工科大学、現 Kettering University)へ留学し米国の経営管理と企業法務を学ぶ。著書は『総解説・ビジネスモデル特許』『日経文庫 ネットビジネスの法律知識』『情報知的財産権』(以上、日本経済新聞出版社)、『国際取引法と契約実務』『初めての人のための契約書の実務』(以上、中央経済社)、『アメリカ法制度と訴訟実務』(雄松堂)、『英文契約書の基礎と実務』(DHC)、『やさしくわかる英文契約書』(日本実業出版社)。

講座概要

- 受講料金：一般 19,440 円（税抜価格 18,000 円）
- 受講期間：8 週間（原則 毎月月初に開講）※受講期間および申込締切については、ウェブサイトでご確認ください。
- 標準学習時間：6 時間
- 動作環境：動作環境 OS × ブラウザー Microsoft® Windows® 7 × Microsoft® Internet Explorer 11
Microsoft® Windows® 10 × Microsoft® Internet Explorer 11

注意事項 本講座はインターネットにアクセスしてパソコンで学習するeラーニングです。
詳細は日経ビジネススクールのウェブサイトでご確認ください。 <http://s.nikkei.co.jp/online300>



Point! こんな方にお勧めします!

- ビジネスで英文契約書の必要性を痛感している方
- 自分でも契約の重要ポイント、ビジネス上のリスクや問題点を把握しておきたいと考える開発、企画・営業・製造など現場のビジネスパーソンの方
- 国際法務担当者や法律事務所に勤務の方

プログラム

●英文契約書についての基礎知識

- ・英文契約書アレルギーを取り去る
- ・英文契約書の書かれ方を知る、ドラフトはどうやって行われる

●英文契約書の一般的構成

- ・【頭書】 ・【前文】 ・【本文・結語】 ・【署名・添付書類】

●英文契約書の基本表現（慣用表現）と例文

- ・助動詞の使い方
- ・条件に関する表現
- ・（努力）義務に関する表現
- ・責任・保証に関する表現
- ・法的拘束力に関する表現
- ・列挙に関する表現
- ・権利の法的性質に関する表現
- ・選択権に関する表現
- ・推定・法的擬制に関する表現
- ・期限・期間・頻度を表す表現
- ・damage 損害の種類を表す表現
- ・費用負担に関する表現
- ・数量を表す表現
- ・同義語・類語の重複

5. 英文契約書の基本表現(慣用表現)と例文

●準拠法・裁判管轄・仲裁についての基礎知識

●FAQ

●今後の学習のステップ ～ 英文契約書マスターのためのアクションプラン

●終わりに ～ グローバル法務パーソンに要求される資質とは何か

日経ビジネススクールオンライン講座事務局

eメール nikkei-on@nikkeipr.co.jp TEL 03-6812-8679 (土日祝日・年末年始を除く 9:30~17:30)